

中期目標（案）の概要

次期中期目標は、「**県民本意・学生本意の大学**」として、県立大学の目指すべき姿を「**地域貢献・教育重視型大学**」と位置づけて、「**大学改革**」を推し進める。

1. 浜田キャンパスの学部改編

- ・ 現在の「総合政策学部」を「地域系学部」、「国際系学部」の2学部への改編を検討

2. 大学院のあり方

- ・ 看護学研究科に博士後期課程を設置する（設置：H31年4月）
- ・ 看護学研究科の修士課程に助産分野を追加する（設置：H32年4月）
- ・ 北東アジア開発研究科は、北東アジア地域センターの見直しの状況を踏まえた見直しを行う

3. 入試制度改革

- ・ 若者の県内定着につながる県内入学率の向上に向けて、入試制度改革を実施

4. 研究機関の改編

- ・ 研究の成果は、教育や地域に確実に還元する
- ・ 県の実質負担を伴う研究については、特に地域貢献に主眼を置き、対象地域や分野の拡大や見直しを実施

(1) 北東アジア地域研究センター

- ・ 県内企業の海外進出の動向などの県内情勢を踏まえて、研究成果を還元するため、対象地域を北東アジア地域から東南アジア地域等へ拡大し、対象分野を経済社会分野へも拡大する

(2) しまね地域共創研究センター（仮称）（設置：H31年4月）

- ・ 地域研究の拠点として、しまね地域共創研究センター（仮称）を設置

(3) 上記2つの研究センターの統合ほか

- ・ 2つの研究センターの統合の可能性を視野に、研究組織のあり方を検討
- ・ 北東アジア地域研究センターと密接に関連する大学院（北東アジア開発研究科）のあり方は、同センターの見直しの状況を踏まえて見直す

5. ガバナンス体制の整備

- ・ 理事長（学長）のもとで、機動的かつ戦略的な大学運営を実現する